

平成 30 年度

事業計画・予算書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

■事業計画	
○基本方針・重点項目	P1 ～ P4
○福祉事業・福祉サービス内容	P4 ～ P11
○年間事業予定表	P12 ～ P13
■会計の構成	P14
■社会福祉事業会計 資金収支予算書 (社協全体の合計)	P15 ～ P17
■拠点区分	
○地域福祉推進事業 資金収支予算書	P18 ～ P20
○介護事業 資金収支予算書	P21 ～ P22
○福祉資金貸付事業 資金収支予算書	P23
■サービス区分	
○法人運営事業 資金収支予算書	P24 ～ P25
○地域福祉事業 資金収支予算書	P26
○サロン活動推進事業 資金収支予算書	P27
○ボランティアセンター 資金収支予算書	P28
○あんしん生活サポートセンター 資金収支予算書	P29
○移送サービス運営事業 資金収支予算書	P30
○地方創生事業 資金収支予算書	P31
○生活支援体制整備事業 資金収支予算書	P32
○認知症地域支援・ケア向上事業 資金収支予算書	P33
○生活支援サポート事業 資金収支予算書	P34

平成 30 年度 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 事業計画

基本方針

近年の社会福祉をめぐる状況は、少子高齢化の進展や家族の変容等に伴い、地域の誰ともつながらない「社会的孤立者」が生まれています。また、福祉ニーズの多様化は、行政が行う公的サービスや介護保険サービス、在宅福祉サービスなど既存のサービスでは捉えきれない生活課題も見られています。そのため、地域に暮らす子どもや高齢者、障がい者などすべての人たちが、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が求められています。

住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決に向けた取り組みを進めたり、制度やサービスの隙間を埋める取り組みは、地域福祉推進の中核である社会福祉協議会が担っていく必要があります。

津別町社会福祉協議会では、認知症を抱える世帯で親族が遠くにいるため、財産管理を始めとした日常生活の支援を必要としている世帯への成年後見制度利用による支援、職場や地域での生きづらさから「ひきこもり」になった方への相談支援や居場所の設置、地域住民との協働による地域の総合相談拠点の整備など。個別支援を大切にしながら取り組みを進めてきました。

こうした取り組みは「第 1 期津別町地域福祉計画」「第 4 期津別町地域福祉実践計画」に盛り込まれており、本年度は 4 年目を迎えます。高齢化率はオホーツク管内で一番高い津別町ですが、元気なうちはお互いに支え合う町づくりを目指していきます。その取り組みの中核に社会福祉協議会があり、改正された社会福祉法による社会福祉法人の公益的な取り組みと合わせ進めていきます。

本年度の基本方針の柱は、昨年度と同様に「個を地域で支える・個を支える地域をつくる」を重点に置き、地域に暮らしている一人ひとりが安心して暮らしていけるような地域づくりを目指します。そして、この取り組みを行うのは、ここに暮らしている地域住民の皆さん一人ひとりであり、自治会・民生児童委員協議会・介護事業所・障がい事業所など関連団体の皆さんとも連携しながら、町と一体となり、「助け合い見守りで 安心して住み続けられるまち つべつ」を合言葉に、地域福祉を推進していきます。

以下、下記の重点項目を中心に取り組みを進めます。

重点項目

1. 総合相談機能の充実

(1) あんしん生活サポートセンターほっとの運営

5 年目を迎えるあんしん生活サポートセンターの運営は、成年後見制度の相談に限らず、生活困窮やひきこもりの問題等地域の困りごとの相談窓口としての業務も増えてきています。また、法人後見ケースの増や遺産分割など法律分野の業務も増えてきていることから、引き続き弁護士や司法書士・社会福祉士など専門職と連携しながら相談機能の充実を図ります。

(2) 地域相互支援型自治体推進モデル構築事業の推進

平成 27 年度から始まった大阪市立大学と北海道総合研究調査会（HIT）との事業は、平成 29 年度をもって 3 年間の事業が終了します。しかし、この間進めてきた地域の担い手の人たちと専門職との協働による地域の総合相談の活動は、担い手育成や優しい地域づくりが進むなど、その事業効果を実感しています。

本年度は、この事業拡充のため、津別町で国のモデル事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（多機関の協働による包括的支援体制構築事業）を申請する予定で、事業開始となれば町と協働して、専門職や担い手の育成研修等行いながら、身近な福祉相談所の拡充、ひきこもり者の支援など進めていきます。

2. 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み（小地域福祉活動）

・サロンの運営と拡大

平成 29 年度に新規立上げた旭町第 3 と活汲地区を加え、現在、8 カ所の地域サロンと 3 カ所の運動サロンの活動が、地域住民の皆さんの手により行われています。本年度も継続開催に向け人的、財政的支援を行うとともに、2 カ所の新規サロン拡大に向けた取り組みを進めます。

・見守り活動

各地域内で、高齢一人暮らし世帯への見守り活動を行う自治会が増えてきています。地域相互支援型自治体推進研究事業のモデル地区である旭町第 3 自治会、活汲中央自治会による月 2 回の担い手の人たちによる見守りや訪問活動の他に、新町自治会による 80 歳以上独居高齢者への月 1 回の訪問活動、幸町自治会による独居高齢者世帯への担当者を決めての見守り活動など、自分たちで安心して暮らせる地域づくりの取り組みが進められています。

今後も自治会と連携しながら津別町にあった「見守りシステムの構築」を目指した取り組みを進めていきます。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

平成 28 年 1 月から実施している介護予防いきいきポイント事業は、登録者が 115 人を超え、そのうち 6 割以上が何らかのボランティア活動に参加しています。将来的には人口の 1 割（500 人）を目標に、登録前研修やフォローアップ研修などを通じて、地域の支え合い活動の推進や新たなボランティア活動の担い手の発掘などを目的に活動を行っていきます。

3. 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援サポート事業の開始とコーディネーターの取り組み

平成 30 年 4 月から事業開始となる生活支援サポート事業は、町からの受託事業

で、住民同士の支え合いの町づくりを推進するため、指定の講習を受講したサポーターが、ゴミ出しや掃除等の家事を必要とする世帯を訪問し、支援を行う事業です。

支援を受ける側も30分100円のチケットを購入、サポーターも30分100円のスタンプが付与されるなど住民同士の支え合い事業です。この事業の支援する側と支援される側のマッチングも社会福祉協議会が担うことになり、事前研修と合わせ事業が軌道に乗るよう進めていきます。

また、生活支援コーディネーターとして、生活支援体制整備推進協議体の運営や、住民主導サービスの創設検討など、新しい総合事業の事業展開を図っていきます。

(2) 認知症カフェの設置と認知症地域支援推進員の活動

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域において認知症の人とその家族を支援するため、町受託事業である認知症地域支援推進員としての活動推進を図ります。当面の課題として、昨年度から検討を始めている認知症の人やその家族を支援し、住民との交流を図る「認知症カフェ」の設置を、本年6月を目途に進めます。

また、認知症初期集中支援チーム（認知症アウトリーチチーム）と連携し、認知症の疑いのある人の把握・訪問（早期発見）し、状態に応じて適切な医療（早期診断）・介護サービスにつなげる取り組みなどの認知症施策を関係機関と連携し押し進めていきます。

(3) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施

要介護高齢者や障がい者、人工透析患者等の通院や通学に利用できる福祉有償運送事業は、平成29年7月から開始しましたが、予想以上の登録者や利用実績があり、それだけニーズがあった事業だと痛感しているところです。

今後も運転手の確保や安全運行などサービスの充実に努めながら、移動支援が必要とする住民の足の確保に努めていきます。

(4) 既存の福祉サービス事業等の充実

給食サービスは、昨年5月から弁当作成事業者を変更し取り組んできました。配達ボランティアの力を借りながら、今後も利用者の増や配達範囲の拡大など必要に応じて見直し・検討を進めていきます。

ふれあい郵便、介護器具貸出、福祉資金貸付、あんしん電話、あんしんコール等福祉サービス内容の見直しやその充実を図ります。

また、独居高齢者の閉じこもり防止や外出機会を増やし他者との交流を目的とした、一人暮らしお年寄りの集いやふれあいバスツアーは、今年度から事業目的に沿って、参加対象年齢を65歳から70歳以上に引き上げて実施をします。男の料理教室などの事業実施も継続を図ります。

地域福祉実践計画に盛り込んでいる福祉委員の見直しについては、自治会連合会と協議を進めながら、地域の中で活動する担い手づくりの検討を進めていきます。

介護保険事業は、訪問介護・訪問入浴介護事業を町内唯一の事業者として取り組んできています。今後も、他の介護サービス事業者と連携し、在宅介護サービスの要の事業であることを忘れずに、サービスの充実に努めていきます。

4. 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

昨年 9 月に北海道社会福祉協議会と津別町社会福祉協議会は、「災害救援活動の支援に関する協定」を締結しました。この協定は、大規模災害が発生し被災地社協が多大な人的・物的な被害を受けた際に、被災地社協の救援活動を支援することを目的に締結したものです。

締結した社協は、平常時から災害救援ボランティアセンター等のマニュアル整備や災害救援用備品器材の確保など取り組みが必要なことから、本年度から計画的に取り組むを進めていきます。

5. 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 社会福祉協議会財政基盤の確立

町の受託事業を始め社会福祉協議会の活動範囲が広がり、事務局の維持費等が増大する一方、会費や寄付金などの収入が減少し、積立基金からの取り崩しが続いています。そのため、事業の見直しや収支バランスなど検討するため、組織財政委員会での協議など、財政基盤の確立を図っていきます。

(2) 役場庁舎・健康福祉センター建設

複合庁舎建設については、組織財政委員会で協議を進めることになっていますが、訓子府町庁舎を視察した以外は、農協と信金が複合庁舎に入る等の議論がある中、静観していたこともあり、健康福祉センターの機能等の議論はされていない現状です。早急に、町保健福祉課との事務レベルでの協議を重ねながら、総務財政委員会、理事会、評議員会等の意見を集約していくことが必要です。

(2) 広報活動の充実

地域住民に社会福祉協議会の活動を知り福祉への理解を深めてもらうため、引き続き社協だよりの年 4 回発行、ホームページの充実やフェイスブックなどの SNS の活用、ボランティア通信の発行等、広報活動の充実に努めます。

(3) 事務局体制の整備

事務局機能の強化を図るため、平成 29 年度から事務局員 1 名の増員が図られました。しかし、権利擁護の推進やひきこもり者支援、生活支援サポート事業、認知症カフェなど新たな事業展開も進められることから、引き続き事務局内での連携を密にしながら事務局体制の整備を進めます。

社協が行う福祉事業・福祉サービスの推進

事業名	福祉教育の推進
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の学校の福祉教育推進に対して、講座を開くなど福祉に興味を持ってもらえるように進めます。 ・津別高校と連携を取りながら、社協事業に協力を仰ぎながら、福祉に対して興味を持ってもらえるように進めます。
(現状や課題) 現状、小学校・中学校との連携はほとんどないので、福祉との関わり合いをどのようにして進めるかが課題。	

事業名	あんしん生活サポートセンターほっとの運営
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する相談、助言、申立手続支援を行います。 ・広報誌や社協だよりによる普及啓発や自治会等への出前講座で説明を行います。 ・市民後見人フォローアップ研修を開催し、養成と活動支援を行います。 ・関係機関や弁護士等と連携を図るとともに、受任調整会議を開催し、適正な成年後見活動を進めます。 ・法人後見活動や日常生活自立支援事業の活用など権利擁護活動を推進します。 ・町と連携して「成年後見制度促進基本計画」の策定など検討を進めます。
(現状や課題) 相談件数及び受任件数が増えてきているので、相談体制等の充実が求められる。	

事業名	ひきこもり者等社会的孤立者への支援
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年12月に開所した、ひきこもり者や障がいを持った社会的孤立者を支援する「居場所」は、専属の支援員を配置しながら本格的な活動が始まります。対象となる世帯への訪問活動や「居場所」での支援など、町内の関係機関を始め、道内の関係する団体などとも連携しながら、家族支援や当事者支援に向けた取り組みを進めます。 ・中間的就労の場として、昨年度から開所した「社協めぐり」(農園)は、今年度から住民ボランティアによる運営委員会を設置し、住民協働による農園づくりを進め、孤立者への支援を働きかけます。 ・町内企業に働きかけをして、仕事の切り出しをすることで、障がいを持った方やひきこもりの方たちの中間的就労の場の確保を進めていきます。
(現状や課題) 「居場所」や「社協めぐり」の広報活動を進める必要があり、町内外への周知活動を進める。	

事業名	いきいきサロン活動の推進
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン支援員を配置し地域サロン活動への運営支援や財政的支援を行います。 ・新規2ヶ所の地域サロンの立ち上げに向け、自治会への説明会開催など取り組みます。 ・他地区との交流を含めた、サロン交流会を開催します。
(現状や課題) 運動サロンを含めて11地区でサロン活動が行われているが、スタッフが不足気味である。	

事業名	福祉有償運送事業（移送サービス）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を単独で利用することが困難な高齢者や障がい者の通院や通学などに対し、営利とは認められない範囲の料金で、自家用自動車を使用して行う福祉有償運送サービスを実施します。 ・運転手の確保や安全運行など引き続きサービス充実に努めていきます。
(現状や課題) 車や運転手の確保、利用状況などが課題。	

事業名	生活支援サポート事業の推進と生活支援コーディネーターの取り組み
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の支え合いの町づくりを進めていくため、指定の研修を受講した生活支援サポーターが、家事を必要とする世帯を訪問し、支援する生活支援サポート事業を平成30年4月からスタートします。 ・必要とする世帯へサポーターを派遣するマッチング機能を社協が担うため、臨時職員を配置し、チケット販売等の業務も含め取り組みます。 ・生活支援コーディネーターの業務として、生活支援体制整備推進協議体の運営や新たな住民主導のサービス創設など、町と連携して取り組みます。
(現状や課題) 生活支援コーディネーターの育成、地域資源の開発が急務。	

事業名	認知症地域支援の推進と認知症カフェの設置
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員を社協内に配置し、認知症の人とその家族を支援するため、認知症初期集中支援チームと連携し認知症の疑いのある人の早期発見、早期診断及び認知症カフェや認知症家族の会の設置など認知症施策を推進します。 ・認知症の人とその家族への支援と認知症への理解を進めるなど「認知症カフェ」の設置を本年6月を目標に取り組みます。
(現状や課題) 認知症初期集中支援チームを始めとした、関係機関との連携がカギになる。	

事業名	第28回つべつふれあい広場
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあう心を大切に・みんなで支え合う町に」のスローガンを掲げ、関係機関と連携を図り、町内で実施している福祉の情報発信を行います。
(現状や課題) 町民に福祉を身近に感じてもらうために、各関係機関や住民を巻き込む必要がある。	

事業名	ふれあいバスツアー
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、名勝めぐり等を企画して、他の人との交流や外出の機会を提供します。 ・6月開催を予定
(現状や課題) 参加者のニーズに合わせて、場所や体験型ツアーなどを検討していく必要がある。	

事業名	一人暮らしお年寄りの集い
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅高齢者の社会参加を図るため、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に交流の場として年2回（7月・1月）開催します。
(現状や課題) 楽しく過ごすことができ、参加者の現状が把握できたり、情報の提供ができる内容を検討していく。	

事業名	男の料理教室
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回（9月と2月）4回シリーズで男性の生活力向上と交流を目的に、概ね60歳以上の方を対象に開催します。
(現状や課題) 実施回数、実施時期、対象者など検討する。	

事業名	給食サービス事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回（火・金）ひとり暮らしの高齢者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図ります。 ・配食は、引き続きボランティアの協力を得て実施します。
(現状や課題) 利用料、容器、業者など、引き続き見直し。検討を進めます。	

事業名	介護器具の貸出事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護が必要な方に福祉器具の情報提供と整備を図りながら、ベッド・車イス・エアーマットの貸出を行います。
(現状や課題) ベッドの返却や寄贈があったときに、保管する場所がない。	

事業名	あんしん電話（緊急通報システム）の推進
内容	・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置ですが、町の緊急通報システムは消防に通報が行くので、町システムへの移行を進めます。
<p>（現状や課題）</p> <p>近所の方に迷惑をかけたくないという理由で、設置しない方や設置してもボタンを押さない方がいる。町の緊急通報システムは設置費用がかかるので、移行に難色を示す人が多い。</p>	

事業名	あんしんコール事業
内容	・独居高齢者や高齢者夫婦世帯などに対し、安否の確認や不安解消のために週 2 回（月・木）電話をかけて状況を確認しています。
<p>（現状や課題）</p> <p>事業自体を知らない方が多いので、PR が必要である。</p>	

事業名	ふれあい郵便事業
内容	・町内在住の 80 歳以上のひとり暮らしの方を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月 1 回自治会の福祉委員や郵便配達員が手渡しで配達し、安否の確認と不安の解消を図ります。
<p>（現状や課題）</p> <p>現在、11 自治会で地域の方に配っているが、全地域で自治会の福祉委員など地域で配布できるよう推進していく。</p>	

事業名	命のバトン配布事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の安全・安心を確保するため、かかりつけの病院や持病などの医療情報、緊急連絡先を専用の容器に入れ冷蔵庫に保管し、万が一の救急時に備えます。 ・設置した方に対して、地域の方が定期的（2 ヶ月に 1 回程度）に訪問し安否の確認等を行います。
<p>（現状や課題）</p> <p>最新情報を把握するための定期訪問を各地域で行っているが、今後は福祉委員の見直しをする中で多くの地域で取り組まれるよう検討する必要がある。</p>	

事業名	福祉資金貸付事業
内容	・低所得者世帯に対し緊急の生活資金として、無利子、無担保で貸付を行います。
(現状や課題) 福祉資金を貸し付けるだけでは、問題が解決しない方が増えてきているので、その後の関わり方が大切である。	

事業名	生活福祉資金貸付事業
内容	・北海道社会福祉協議会の貸付事業。低所得者世帯等が生活資金、修学資金等を借りたい場合の相談業務や事務手続きを行います。
(現状や課題) 申請から貸付まで時間がかかる（おおよそ1ヶ月）ことから、緊急に必要な方は利用しづらい。	

事業名	心配事相談事業
内容	・地域住民の多様化する日常生活上の相談への助言等を行うため、相談員を1名配置して相談業務を行う。 ・窓口は社協職員が行い、面談日等日程を調整する。
(現状や課題) サポートセンターが開設しているため、相談件数はない。将来的に事業の見直しが必要。	

事業名	地域老人懇談会助成事業
内容	・地域福祉活動を推進するため、自治会単位で開催する高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成を行う。
(現状や課題) 毎年15自治会前後がこの事業を活用しているが、もっと多くの自治会に活用していただけるよう周知していく。	

事業名	広報啓発事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回（4月・7月・10月・1月）の社協だよりを発行します。 ・ボランティア通信の随時発行を行います。 ・ホームページの充実とフェイスブックを活用し、社協活動の日常的な情報発信を行います。
(現状や課題) 内容を充実させ、社協が行う福祉サービス・事業を住民に周知していく。	

地域相互支援型自治体推進モデル構築に係る研究事業

事業名	地域相互支援型自治体推進モデル構築事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域相互支援型自治体推進モデル事業は、当初の3年間の事業は終了したが、引き続き「身近な福祉相談所」の2地域の運営と合わせ、この相談所の拡充を目指した取り組みを進めていきます。 ・昨年度から地方創生推進交付金を活用したひきこもり者や障がい者の就労の受け皿づくりなどの環境整備として「居場所」や「社協めぐり（農園）」事業など行っているが、本年度も居場所に支援員を配置する他、社協めぐりは住民による運営委員会を設置しながら、住民との協働運営を目指します。
(現状や課題) 地域の担い手の確保と居場所での軽作業の確保が課題にある。	

ボランティアセンター活動の充実

事業名	ボランティアセンター活動
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉ニーズに即したボランティアの発掘・育成・需給調整を行います。 ・ボランティア活動団体・関係機関等との連携、協力を行いボランティアセンターの機能充実を図ります。 ・ボランティア活動の相談や登録・斡旋・情報提供等が円滑にできる体制づくりを進めます。 ・基礎講座（ボランティア開始時、傾聴ボランティア講座、介護予防サポーター等）を開催します。 ・専門講座を開催します。 ・町外で開催するボランティア研修会等へのボランティアの参加を進めます。 ・介護予防いきいきポイント事業の推進に向けて、研修会の開催、ボランティアの登録、関係団体への周知、ポイント管理、商品券等の交換手続きを進めます。
(現状や課題) ボランティアの高齢化や新たなボランティアの発掘などが課題。	

事業名	災害ボランティアセンターの運営
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道社会福祉協議会との災害救援活動の支援に関する協定の基づき、平常時における活動として、次の取り組みを計画的に実施します。 ①災害救援ボランティアセンター等マニュアルの整備 ②災害救援担当職員の配置と研修の実施 ③災害救援用備品の確保 ④地域防災力の強化を目的とした事業の実施 ⑤道社協との連絡強化及び情報の共有 ・津別町防災計画の見直しに向けて、災害ボランティアセンターの社会福祉協議課の位置付け等について町総務課との協議を進めます。
(現状や課題) 町防災計画への関与がなかったので、今後、災害時要援護者支援と合わせ協議が必要。	

介護サービス事業の推進

事業名	介護サービス事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度のサービス事業者、障がい福祉サービス事業者として、高齢者等の一人ひとりが、住み慣れた地域や家庭でいつでも安心した生活が送れるよう、良質な介護サービス提供に努め、利用者が介護サービスを適切に選択・利用できる環境づくりを関係機関と連携しながら推進します。また、職員研修を充実させ、支援体制の整備を図ります。(訪問介護事業・介護予防訪問介護事業・訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業・障がい福祉サービス事業) ・町が実施する制度外の受託事業について、高齢者が健康で生きがいを持って生活できるように、関係機関と連携を図りその推進に努めます。(安否確認訪問事業) ・総合事業による訪問型サービスの提供ができるように体制を整えます。
(現状や課題) 訪問介護、訪問型サービスに対応する職員の確保が課題。	

津別町老人クラブ連合会事務局の運営

事業名	津別町老人クラブ連合会事務局の運営
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康で生きがいのある生活を送るために、交流や趣味を生かした老人クラブ活動の活性化に努めます。 ・老人クラブ会員の増大に向けた取り組みを進めます。 ・会長杯ゲートボール大会、パークゴルフ大会、女性研修会など諸行事の取り組みを推進します。
(現状や課題) 連合会役員改選期を迎え、スムーズな会務の運営に努める。	

平成30年度 津別町社会福祉協議会 年間事業予定表

	事業・会議名	内容
4月	社協 第1回在宅福祉サービス推進委員会 VC 第1回ボランティアセンター運営委員会 VC ボランティア交流会	給食V、託児V、絵手紙V等の交流
5月	社協 決算監査 社協 管内社連協総会及び会長・事務局長会議 社協 社協理事会 老ク 老人クラブ連合会総会 び サークルびゅあ例会	平成29年度決算 平成29年度事業報告・収支決算
6月	社協 全道社協会長・事務局長研究協議会 社協 全道市町村社協新任職員研修会 ほ 受任調整会議 社協 社協評議員会 認知 認知症カフェの開設	札幌市 札幌市 成年後見等の活用に関する会議 平成29年度事業報告・収支決算
7月	社協 管内社協職員連絡会議及び自主研修 地域 ひとり暮らしお年寄りの集い（夏） 地域 第27回つべつふれあい広場 社協 社協第1四半期監査	網走市 中央公民館 4月から6月分
8月	社協 全道社協職員研究協議会 VC オホーツク圏V活動推進会議 VC 全道ボランティアセンター連絡協議会 老ク 老ク連会長杯親睦ゲートボール大会 び サークルびゅあ例会	札幌市 ボランティア実践者の会議 札幌市
9月	VC 第2回ボランティアセンター運営委員会 社協 社協理事会	
10月	地域 秋の日帰りバスツアー 共 赤い羽根共同募金運動の開始 ほ 受任調整会議 社協 社協第2四半期監査 VC ボランティア愛ランド北海道2018小樽 サ いきいきサロン交流会 ほ 市民後見人フォローアップ研修 老ク 老ク連会長杯パークゴルフ大会 老ク 網走地区老人クラブリーダー研修会	65歳以上のひとり暮らし対象 成年後見等の活用に関する会議 7月から9月分 小樽市 サロン実践地域の交流会 H30.2まで開催（市民後見人の知識向上のため） 網走市
11月	VC オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム 介護 介護・障がい事業所集団指導 VC 3町ボランティア「朋の集い」 社協 全道市町村社協事務局長連絡会議 社協 社協役員先進地視察研修 老ク 老ク連意見交換会 ほ オホーツク管内市民後見人活動交流会 び サークルびゅあ例会	ボランティア実践者の研修会 網走市 美堀町 札幌市

	事業・会議名	内容
12月	共 歳末たすけあい運動の開始 社協 歳末支援金配分委員会 社協 管内社連協総会及び会長・事務局長会議 VC 年賀状作成事業 VC 第3回ボランティアセンター運営委員会 社協 社協理事会 老ク 老人クラブ連合会女性研修会	歳末募金の配分
1月	地域 ひとり暮らしお年寄りの集い（冬） 社協 社協第3四半期監査 ほ 市民後見人フォローアップ研修	10月から12月分
2月	地域 長寿者夫婦の集い VC 男の料理教室 ほ 受任調整会議	夫婦の年齢合わせて140歳以上が対象 概ね60歳以上の男性 成年後見等の活用に関する会議
3月	社協 社協理事会・評議員会 VC オホーツク圏V活動推進会議 社協 管内社連協総会及び会長・事務局長会議 ほ 受任調整会議 VC 男の料理教室 VC ボランティアご苦労様会 ぴ サークルぴゅあ例会	新年度予算等 ボランティア実践者の会議 成年後見等の活用に関する会議 概ね60歳以上の男性 登録ボランティアの慰労と交流の場
福祉サービス等	社協 給食サービス 社協 あんしんコール 社協 ふれあい郵便 社協 介護器具の貸出 社協 緊急通報システムの設置 社協 地域老人懇談会の助成 社協 命のバトンの推進 社協 福祉有償運送事業 ほ あんしん生活サポートセンターの運営	毎週火・金曜日 毎週月・木曜日 毎月1回絵手紙の配達（80歳以上独居者が対象） ベッド（月1,000円）車イス、エアーマット（月500円） 緊急時にボタンを押すと協力者に連絡がいく装置 各地域1回に限り助成（70歳以上の方一人に付1,000円） 緊急時のために個人の情報を記載したバトンの設置 日曜日以外運行の移送サービス
通年実施予定事業等	定例民協（毎月第2木曜日）への参加 地域ケア会議（随時） 介護事業所連絡会議（毎月） 社協 社協だよりの発行 VC ボランティア通信の発行 サ 運動サロン（月2回） サ いきいきサロン（毎月）	年4回（4月・7月・10月・1月） 随時 はつらつ健康サロン（共和）、さわやか健康サロン（西町） 高台町、柏町、相生、本岐、豊永第4、東町、東達美 旭町第3、活波

社協 ～ 社会福祉協議会関係、VC ～ ボランティアセンター関係、サ ～ サロン活動関係
ほ ～ あんしん生活サポートセンターほっと関係、介護 ～ 介護事業関係、V ～ ボランティア
地域 ～ 地域福祉事業関係、老ク ～ 老人クラブ連合会、ぴ ～ サークルぴゅあ
認知 ～ 認知症地域支援事業

津別町社会福祉協議会 会計の構成 (社会福祉法人新会計基準)

会計名	拠点区分	サービス区分	主な事業内容	
社会福祉事業	地域福祉推進事業	法人運営事業	理事会・評議員会等の開催、会員事業推進、組織管理業務、会計・経理、給与、総務等の機能	
		地域福祉事業	地域福祉の調査及び研究・普及・広報、福祉事業の企画・運営、福祉団体への助成及び連絡調整、生活福祉資金(道社協事業)の貸付窓口業務、共同募金(赤い羽根募金運動・歳末たすけあい運動)への協力	
		サロン活動推進事業	サロンの運営、普及、周知、協力者の養成	
		ボランティアセンター	ボランティアの養成・需給調整、ボランティア活動の推進・支援、福祉教育の充実・介護予防いきいきポイント事業	
		あんしん生活サポートセンター	相談業務、法人後見事業、市民後見人の養成・支援、日常生活自立支援事業(道社協受託業務)	
		移送サービス運営事業	福祉有償運送	
		生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの養成、ボランティア等の生活支援の担い手の要請・発掘、地域資源の開発、ネットワークの構築	
		認知症地域支援・ケア向上事業	認知症対応力向上のための支援、相談支援・支援体制構築	
		地方創生事業	引きこもり者等の「居場所づくり」、中間的就労の場づくり	
		生活支援サポート事業	住民同士の支え合い事業の推進、新たな住民主導のサービスの創生	
		介護事業	ホームヘルプサービス事業	介護保険サービス(訪問介護・訪問入浴)、障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護・行動援護)、町受託事業(安否確認訪問)、高齢者訪問業務
		福祉資金貸付事業	福祉資金貸付事業	生活支援者等に対する福祉資金の貸付

平成30年度 社会福祉事業会計 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			社会福祉事業会計				
	大区分	中区分	小区分	地域福祉推進事業	介護事業	福祉資金事業	合計	
事業活動による収支	収入	会費収入	会費収入		960			960
				一般会費	760			760
				特別会費	200			200
		寄付金収入	寄付金収入		1,300			1,300
				一般寄付金収入	1,200			1,200
				その他の寄付金収入	100			100
		経常経費補助金収入			24,870			24,870
			市町村補助金収入	津別町町補助金収入	23,103			23,103
			その他の補助金収入		85			85
			共同募金配分金収入		1,682			1,682
				一般募金配分金収入	1,032			1,032
				歳末たすけあい配分金収入	650			650
		受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	14,019	224		14,243
		貸付事業収入	償還金収入				300	300
		事業収入			3,561			3,561
			事業収入	事業収入	240			240
			利用料収入		3,321			3,321
				給食サービス利用料収入	1,009			1,009
				その他の利用者負担金収入	2,312			2,312
		介護保険事業収入	居宅介護料収入		0	19,538		19,538
				介護報酬収入		12,883		12,883
				介護予防報酬収入		4,702		4,702
				介護負担金収入		1,431		1,431
				介護予防負担金収入		522		522
		障害福祉サービス等事業収入	自立支援給付費収入	介護給付費収入		104		104
		受取利息配当金収入	受取利息配当金収入		2	1	1	4
		その他の収入	雑収入		297	3		300
	事業活動収入計 (1)			45,009	19,870	301	65,180	
支出	人件費支出			35,043	17,229		52,272	
		職員給与支出		20,249	8,144		28,393	
			職員俸給支出	18,055	6,744		24,799	
			職員諸手当支出	2,194	1,400		3,594	
		職員賞与支出		5,540	2,612		8,152	
		非常勤職員給与支出		3,704	4,225		7,929	
		退職給付費支出		1,462	270		1,732	
		法定福利費支出		4,088	1,978		6,066	

区分		勘定科目			社会福祉事業会計			
		大区分	中区分	小区分	地域福祉推進事業	介護事業	福祉資金事業	合計
事業活動による収支	支出	事業費支出			10,120	1,732		11,852
		諸謝金支出			819			819
		消耗器具備品費支出			877	160		1,037
		旅費交通費支出			614	199		813
		水道光熱費支出			173			173
		燃料費支出			175			175
		会議費支出			40			40
		印刷製本費支出			475			475
		車両維持費支出			2,076	1,289		3,365
		修繕費支出			50			50
		通信運搬費支出			616	54		670
		ふれあい交流会費支出			874			874
		研修費支出			369			369
		手数料支出			23			23
		給食費支出			2,180			2,180
		保険料支出			275	30		305
		賃借料			462			462
		雑支出			22			22
		事務費支出			3,405	406		3,811
				福利厚生費支出			114	264
			旅費交通費支出			423	53	476
			会議費支出			78		78
			報償費支出			10		10
			事務消耗品費支出			441	50	491
			通信運搬費支出				9	9
			手数料				30	30
			印刷製本費支出			39		39
			水道光熱費支出			530		530
			燃料費支出			300		300
			修繕費支出			10		10
			賃借料支出			842		842
			広告料支出			13		13
		実費弁償費支出			440		440	
		慶弔費支出			50		50	
		雑支出			115		115	

区分	勘定科目			社会福祉事業会計			
	大区分	中区分	小区分	地域福祉推進事業	介護事業	福祉資金事業	合計
事業活動による収支	支出	貸付事業支出	貸付金支出			200	200
		共同募金配分金事業費	歳末たすけあい配分金事業費	歳末たすけあい配分事業費	535		535
		助成金支出	助成金支出		445		445
		負担金支出	負担金支出	負担金支出	350	47	397
		事業活動支出計 (2)			49,898	19,414	200
	事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			△ 4,889	456	101	△ 4,332
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出						
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0	0	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収	積立資産取崩収入	福祉事業積立資産取崩収入	4,889		4,889
		拠点区分間繰入金収入	拠点区分間繰入金収入		150		150
		サービス区分間繰入金収入	サービス区分間繰入金収入		1,181		1,181
		その他活動収入計 (7)			6,220	0	0
	支出	拠点区分間繰入金支出	拠点区分間繰入金支出		150		150
		サービス区分間繰入金支出	サービス区分間繰入金支出		1,181		1,181
		その他活動支出計 (8)			1,331	0	0
	その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			4,889	0	0	4,889
予備費支出 (10)			0			0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	456	101	557	

前期末支払資金残高 (12)	0	4,561	1,401	5,962
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	5,017	1,502	6,519

平成30年度 地域福祉推進事業（拠点区分） 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

区分	勘定科目			拠点区分合計			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増 減 B-A	
事業活動による収支	収入	会費収入	会費収入	960	960	0	
				一般会費	760	760	0
				特別会費	200	200	0
		寄付金収入	寄付金収入		1,600	1,300	△ 300
				一般寄付金収入	1,500	1,200	△ 300
				その他の寄付金収入	100	100	0
		経常経費補助金収入			26,684	24,870	△ 1,814
			市町村補助金収入	津別町補助金収入	24,859	23,103	△ 1,756
			その他の補助金収入		85	85	0
			共同募金配分金収入		1,740	1,682	△ 58
				一般募金配分金収入	1,070	1,032	△ 38
				歳末たすけあい配分金収入	670	650	△ 20
		受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	13,925	14,019	94
		事業収入			1,353	3,561	2,208
			事業収入		346	240	△ 106
			利用料収入		1,007	3,321	2,314
				給食サービス利用料収入	830	1,009	179
		その他の利用者負担金収入	177	2,312	2,135		
受取利息配当金収入	受取利息配当金収入		2	2	0		
その他の収入	雑収入		297	297	0		
	事業活動収入計 (1)			44,821	45,009	188	
支出		人件費支出		32,684	35,043	2,359	
			職員給与支出		19,134	20,249	1,115
				職員俸給支出	16,703	18,055	1,352
				職員諸手当支出	2,431	2,194	△ 237
			職員賞与支出		5,439	5,540	101
			非常勤職員給与支出		2,787	3,704	917
			退職給付費支出		1,425	1,462	37
	法定福利費支出		3,899	4,088	189		

区分	勘定科目			拠点区分合計			
				地域福祉推進事業			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増 減 B-A	
事業活動による収支	支出	事業費支出			11,574	10,120	△ 1,454
		諸謝金支出			1,118	819	△ 299
		消耗器具備品費支出			2,685	877	△ 1,808
		旅費交通費支出			1,154	614	△ 540
		水道光熱費支出			100	173	73
		燃料費支出				175	175
		会議費支出			27	40	13
		印刷製本費支出			371	475	104
		車両維持費支出			2,013	2,076	63
		修繕費支出			50	50	0
		通信運搬費支出			524	616	92
		ふれあい交流会費支出			887	874	△ 13
		研修費支出			374	369	△ 5
		手数料支出			28	23	△ 5
		給食費支出			1,791	2,180	389
		保険料支出			208	275	67
		賃借料			222	462	240
		雑支出			22	22	0
		事務費支出			3,640	3,405	△ 235
				福利厚生費支出		112	114
			旅費交通費支出		423	423	0
			会議費支出		78	78	0
			報償費支出		10	10	0
			事務消耗品費支出		430	441	11
			印刷製本費支出		39	39	0
			水道光熱費支出		520	530	10
			燃料費支出		260	300	40
			修繕費支出		50	10	△ 40
			賃借料支出		1,020	842	△ 178
			広告費支出		13	13	0
		実費弁償費支出		420	440	20	
		慶弔費支出		50	50	0	
		雑支出		215	115	△ 100	

区分	勘定科目			拠点区分合計			
				地域福祉推進事業			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増 減 B-A	
事業活動による収	支出	共同募金配分金事業費	歳末たすけあい配分金事業費	580	535	△ 45	
		助成金支出	助成金支出	445	445	0	
		負担金支出	負担金支出	412	350	△ 62	
		事業活動支出計 (2)		49,335	49,898	563	
		事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)		△ 4,514	△ 4,889	△ 375	
施設整備等による収支	収入			0	0	0	
				0	0	0	
		施設設備等収入計 (4)		0	0	0	
	支出			0	0	0	
		施設設備等支出計 (5)		0	0	0	
	施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		0	0	0		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	積立資産取崩収入	福祉事業積立資産取崩収入	4,514	4,889	375
		拠点区分間繰入金収入	拠点区分間繰入金収入		150	150	
		サービス区分間繰入金収入	サービス区分間繰入金収入		609	1,181	572
		その他活動収入計 (7)		5,273	6,220	947	
	支出	拠点区分間繰入金支出	拠点区分間繰入金支出		150	150	
		サービス区分間繰入金支出	サービス区分間繰入金支出		609	1,181	572
		その他活動支出計 (8)		759	1,331	572	
		その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		4,514	4,889	375	
	予備費支出 (10)		0	0	0		
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		0	0	0		

前期末支払資金残高 (12)	0	0	0
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	0	0

平成30年度 介護事業（拠点区分） 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

（ 単位：千円）

区分	勘定科目			介護事業（拠点区分） ホームヘルプサービス事業 （サービス区分）			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A	
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	148	224	76
		介護保険事業収入	居宅介護料収入		20,524	19,538	△ 986
				介護報酬収入	14,406	12,883	△ 1,523
				介護予防報酬収入	4,658	4,702	44
				介護負担金収入	1,102	1,431	329
				介護予防負担金収入	358	522	164
		障害福祉サービス等事業収入	自立支援給付費収入	介護給付費収入	196	104	△ 92
		受取利息配当金収入	受取利息配当金収入		1	1	0
		その他の収入	雑収入		3	3	0
	事業活動収入計（1）				20,872	19,870	△ 1,002
	支出	人件費支出			18,275	17,229	△ 1,046
			職員給与支出		9,390	8,144	△ 1,246
				職員俸給支出	6,614	6,744	130
				職員諸手当支出	2,776	1,400	△ 1,376
			職員賞与支出		2,571	2,612	41
			非常勤職員給与支出		4,240	4,225	△ 15
			退職給付費支出		263	270	7
		法定福利費支出		1,811	1,978	167	
事業費支出				1,599	1,732	133	
		消耗器具備品費支出		149	160	11	
		旅費交通費支出		79	199	120	
	車両運搬具支出		1,286	1,289	3		
	通信運搬費支出		54	54	0		
	保険料支出		31	30	△ 1		
	雑支出		0	0	0		

事業活動による収支	支出	勘定科目			介護事業（拠点区分） ホームヘルプサービス事業 （サービス区分）		
		大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A
		事務費支出				390	406
	福利厚生費支出			248	264	16	
	旅費交通費支出			53	53	0	
	事務消耗品費支出			50	50	0	
	通信運搬費支出			9	9	0	
	手数料支出			30	30	0	
	負担金支出	負担金支出		47	47	0	
	事業活動支出計（2）			20,311	19,414	△ 897	
	事業活動収支資金差額（3）＝（1）－（2）			561	456	△ 105	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計（4）			0	0	0
	支出						
		施設設備等支出計（5）			0	0	0
	施設設備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）			0	0	0	
その他の活動による収支	収入	拠点区分間繰入金収入	拠点区分間繰入金収入		0	0	0
		その他活動収入計（7）			0	0	0
	支出	拠点区分間繰入金支出	拠点区分間繰入金支出		0	0	0
					0		
		その他活動支出計（8）			0	0	0
		その他活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）			0	0	0
	予備費支出（10）			0		0	
	当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）			561	456	△ 105	
	前期末支払資金残高（12）			4,000	4,561	561	
	当期末支払資金残高（11）＋（12）			4,561	5,017	456	

平成30年度 福祉資金貸付事業（拠点区分） 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			福祉資金事業（拠点区分）			
				福祉資金貸付事業 （サービス区分）			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増 減 B-A	
事業活動による収支	収入	貸付事業収入	償還金収入		400	300	△ 100
		受取利息			1	1	0
		事業活動収入計（1）			401	301	△ 100
		貸付事業支出	貸付金支出		400	200	△ 200
	事業活動支出計（2）			400	200	△ 200	
	事業活動収支資金差額（3）＝（1）－（2）			1	101	100	
	施設整備等による収支	収入					
			施設設備等収入計（4）				
支出							
		施設設備等支出計（5）					
施設設備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）			0	0	0		
その他の活動による収支	収入	拠点区分間繰入金収入	拠点区分間繰入金収入		150	150	0
		その他活動収入計（7）			150	150	0
	支出	拠点区分間繰入金支出	拠点区分間繰入金支出		150	150	0
		その他活動支出計（8）			150	150	0
	その他活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）			0	0	0	
予備費支出（10）			0	0	0		
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）			1	101	100		

前期末支払資金残高（12）	1,400	1,401	1
当期末支払資金残高（11）＋（12）	1,401	1,502	101

平成30年度 法人運営事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 法人運営事業 (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増 減 B-A	
事業活動による収支	収入	会費収入	会費収入		960	960	0
				一般会費	760	760	0
				特別会費	200	200	0
		受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	0	0	0
		経常経費補助金収入			23,052	22,258	△ 794
			市町村補助金収入	津別町補助金収入	22,967	22,173	△ 794
			その他の補助金収入		85	85	0
		受取利息配当金収入	受取利息配当金収入		2	2	0
		その他の収入	雑収入		280	280	0
			事業活動収入計 (1)			24,294	23,500
事業活動による収支	支出	人件費支出			23,121	22,444	△ 677
			職員給与支出		14,562	14,276	△ 286
				職員俸給支出	12,948	12,778	△ 170
				職員諸手当支出	1,614	1,498	△ 116
			職員賞与支出		4,220	3,929	△ 291
			非常勤職員給与支出		317	319	2
			退職給付費支出		1,013	1,008	△ 5
			法定福利費支出		3,009	2,912	△ 97
		事業費支出			1,919	1,959	40
			消耗器具備品費支出		125	125	0
			車両維持費支出		992	992	0
			諸謝金		0	40	40
			通信運搬費支出		280	280	0
			研修費支出		272	272	0
			手数料支出		21	21	0
	保険料支出		7	7	0		
	賃借料		222	222	0		

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 法人運営事業（サービス区分）			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増 減 B-A	
事業活動による収支	支出	事務費支出			2,855	2,586	△ 269
			福利厚生費支出		78	52	△ 26
			旅費交通費支出		407	407	0
			会議費支出		32	32	0
			報償費		10	10	0
			事務消耗品費支出		161	186	25
			印刷製本費支出		39	39	0
			水道光熱費		520	530	10
			燃料費支出		260	300	40
			修繕費支出		50	10	△ 40
			賃借料		1,020	842	△ 178
			広告費支出		13	13	0
			慶弔費支出		50	50	0
			雑支出		215	115	△ 100
			負担金支出	負担金支出		219	219
	事業活動支出計 (2)			28,114	27,208	△ 906	
	事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			△ 3,820	△ 3,708	112	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出	器具及び備品			0	0	0
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	積立資産取崩収入	福祉事業積立資産取崩収入	4,429	4,889	460
		拠点区分間繰入金収入	拠点区分間繰入金収入		150	150	0
		その他活動収入計 (7)			4,579	5,039	460
	支出	拠点区分間繰入金支出	拠点区分間繰入金支出		150	150	
		サービス区分間繰入金支出	サービス区分間繰入金支出		609	1,181	572
		その他活動支出計 (8)			759	1,331	572
	その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			3,820	3,708	△ 112	
	予備費支出 (10)			0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	0	0		
前期末支払資金残高 (12)			0	0	0		
当期末支払資金残高 (11) + (12)			0	0	0		

平成30年度 地域福祉事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 地域福祉事業（サービス区分）			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減 B-A	
事業活動による収支	収入	寄付金収入	寄付金収入	1,600	1,300	△ 300	
				一般寄付金収入	1,500	1,200	△ 300
				その他の寄付金収入	100	100	0
		経常経費補助金収入	共同募金配分金収入	1,740	1,682	△ 58	
				一般募金配分金収入	1,070	1,032	△ 38
				歳末たすけあい配分金収入	670	650	△ 20
		事業収入		1,353	1,401	48	
			事業収入	346	240	△ 106	
			利用料収入	1,007	1,161	154	
				給食サービス利用料収入	830	1,009	179
			その他の利用者負担金収入	177	152	△ 25	
	その他の収入	雑収入	10	10	0		
		事業活動収入計 (1)			4,703	4,393	△ 310
	支出	事業費支出		3,544	3,853	309	
			消耗器具備品費支出	68	68	0	
			旅費交通費支出	225	150	△ 75	
			会議費支出	17	30	13	
			印刷製本費支出	371	371	0	
			修繕費支出	50	50	0	
			通信運搬費支出	106	106	0	
			ふれあい交流会費支出	887	874	△ 13	
		手数料支出	7	2	△ 5		
		給食費	1,791	2,180	389		
		雑支出	22	22	0		
事務費支出			124	124	0		
		旅費交通費支出	16	16	0		
		会議費支出	23	23	0		
	事務消耗品費支出	85	85	0			
共同募金配分金事業費	歳末たすけあい配分金事業費	580	535	△ 45			
助成金支出	助成金支出	445	445	0			
負担金支出	負担金支出	10	10	0			
	事業活動支出計 (2)			4,703	4,967	264	
	事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			0	△ 574	△ 574	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出						
	施設設備等支出計 (5)			0	0	0	
	施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0	
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入	サービス区分間繰入金収入	0	574	574	
		その他活動収入計 (7)			0	574	574
	支出						
		その他活動支出計 (8)			0	0	0
	その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			0	574	574	
	予備費支出 (10)			0	0	0	
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	0	0	
	前期末支払資金残高 (12)			0	0	0	
	当期末支払資金残高 (11) + (12)			0	0	0	

平成30年度 サロン活動推進事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業			
				サロン活動推進事業 (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A	
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	1,240	1,393	153
		事業活動収入計 (1)			1,240	1,393	153
	支出	人件費支出	非常勤職員給与支出		377	457	80
		事業費支出			363	415	52
			諸謝金支出		314	369	55
			保険料支出		49	46	△ 3
		事務費支出			500	521	21
			事務消耗品費支出		80	81	1
		実費弁償費支出		420	440	20	
	事業活動支出計 (2)			1,240	1,393	153	
事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)				0	0	0	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出						
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)				0	0	0	
その他の活動による収支	収入						
		その他活動収入計 (7)			0	0	0
	支出						
		その他活動支出計 (8)			0	0	0
その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)				0	0	0	
予備費支出 (10)				0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)				0	0	0	
前期末支払資金残高 (12)				0		0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)				0	0	0	

平成30年度 ボランティアセンター 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 ボランティアセンター (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減 B - A	
	事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	450	455
	収入	その他の収入	雑収入		7	7	0
		事業活動収入計 (1)			457	462	5
	支出	事業費支出			897	900	3
			消耗器具備品費支出		407	406	△ 1
			旅費交通費		269	269	0
			会議費		10	10	0
			通信運搬費支出		61	70	9
			研修費支出		102	97	△ 5
			保険料支出		48	48	0
		事務費支出			86	86	0
			事務消耗品費支出		63	63	0
			会議費		23	23	0
		負担金支出	負担金支出		83	83	0
		事業活動支出計 (2)			1,066	1,069	3
		事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			△ 609	△ 607	2
施設整備等による収支	収入				0	0	0
					0	0	0
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出				0	0	0
					0	0	0
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
		施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入	サービス区分間繰入金収入		609	607	△ 2
		その他活動収入計 (7)			609	607	△ 2
	支出				0	0	0
					0	0	0
		その他活動支出計 (8)			0	0	0
		その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			609	607	△ 2
		予備費支出 (10)			0	0	0
		当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	0	0
		前期末支払資金残高 (12)			0	0	0
		当期末支払資金残高 (11) + (12)			0	0	0

平成30年度 あんしん生活サポートセンター 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 あんしん生活サポートセンター (サービス区分)				
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A		
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	4,547	3,005	△ 1,542	
		事業活動収入計 (1)			4,547	3,005	△ 1,542	
	支出	人件費支出				3,465	2,416	△ 1,049
			職員給与支出			2,128	1,617	△ 511
				職員俸給支出		1,731	1,416	△ 315
				職員諸手当支出		397	201	△ 196
			職員賞与支出			717	344	△ 373
			退職給付費支出			190	156	△ 34
			法定福利費支出			430	299	△ 131
		事業費支出				1,037	559	△ 478
			諸謝金支出			804	329	△ 475
			旅費交通費支出			74	74	0
			通信運搬費支出			68	68	0
			車両費支出			8	8	0
			保険料支出			83	80	△ 3
		事務費支出				45	30	△ 15
		福利厚生費支出			4	4	0	
		事務消耗品費支出			41	26	△ 15	
		事業活動支出計 (2)			4,547	3,005	△ 1,542	
		事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			0	0	0	
施設整備等による収支	収入							
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0	
	支出							
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0	
	施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0		
その他の活動による収支	収入							
		その他活動収入計 (7)			0	0	0	
	支出							
		その他活動支出計 (8)			0	0	0	
	その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			0	0	0		
	予備費支出 (10)			0	0	0		
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	0	0		
前期末支払資金残高 (12)				0	0	0		
当期末支払資金残高 (11) + (12)				0	0	0		

平成30年度 移送サービス運営事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 移送サービス運営事業 (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A	
事業活動による収支	収入	補助金収入	市町村補助金収入	津別町補助金収入	1,977	930	△ 1,047
		事業収入	利用料収入	利用料収入	0	2,160	2,160
		事業活動収入計 (1)			1,977	3,090	1,113
	支出	人件費支出	非常勤職員給与支出		893	1,920	1,027
		事業費支出			1,034	1,170	136
			車両費支出		1,013	1,076	63
			保険料		21	94	73
		負担金支出	負担金支出		50	0	△ 50
	事業活動支出計 (2)			1,977	3,090	1,113	
	事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			0	0	0	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出						
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0		
その他の活動による収支	収入						
		その他活動収入計 (7)			0	0	0
	支出						
		その他活動支出計 (8)			0	0	0
その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			0	0	0		
予備費支出 (10)			0	0	0		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	0	0		
前期末支払資金残高 (12)			0	0	0		
当期末支払資金残高 (11) + (12)			0	0	0		

平成30年度 地方創生事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 地方創生事業 (サービス区分)				
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A		
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	3,755	3,500	△ 255	
		事業活動収入計 (1)			3,755	3,500	△ 255	
	支出	人件費支出				1,200	2,762	1,562
			職員給与支出			0	1,840	1,840
				職員俸給支出			1,711	1,711
				職員諸手当支出			129	129
			職員賞与支出				479	479
			退職給付費支出				68	68
			法定福利費支出				375	375
			臨時職員賃金			1,200	0	△ 1,200
		事業費支出				2,555	710	△ 1,845
			消耗品費支出			2,055	62	△ 1,993
			旅費交通費支出			400	0	△ 400
			水道光熱費			100	173	73
			燃料費			0	175	175
		賃借料			0	240	240	
		通信運搬費支出			0	60	60	
	事務費支出				0	28	28	
		福利厚生費支出			0	28	28	
		事業活動支出計 (2)			3,755	3,500	△ 255	
	事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)			0	0	0		
施設整備等による収支	収入							
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0	
	支出							
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0	
	施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			0	0	0		
その他の活動による収支	収入							
		その他活動収入計 (7)			0	0	0	
	支出							
		その他活動支出計 (8)			0	0	0	
	その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)			0	0	0		
	予備費支出 (10)			0	0	0		
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			0	0	0		
	前期末支払資金残高 (12)			0	0	0		
	当期末支払資金残高 (11) + (12)			0	0	0		

平成30年度 生活支援体制整備事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 生活支援体制整備事業 (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A	
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	1,921	2,126	205
		事業活動収入計 (1)			1,921	2,126	205
	支出	人件費支出			1,814	2,018	204
			職員給与支出		1,222	1,258	36
				職員俸給支出	1,012	1,075	63
				職員諸手当支出	210	183	△ 27
			職員賞与支出		251	394	143
			退職給付費支出		111	115	4
			法定福利費支出		230	251	21
		事業費支出			92	93	1
			消耗品費支出		30	31	1
			旅費交通費支出		53	53	0
			通信運搬費支出		9	9	0
		事務費支出			15	15	0
			福利厚生費支出		15	15	0
事業活動支出計 (2)				1,921	2,126	205	
事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)				0	0	0	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出						
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)				0	0	0	
その他の活動による収支	収入						
		その他活動収入計 (7)			0	0	0
	支出						
		その他活動支出計 (8)			0	0	0
その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)				0	0	0	
予備費支出 (10)				0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)				0	0	0	
前期末支払資金残高 (12)				0	0	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)				0	0	0	

平成30年度 認知症地域支援・ケア向上事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 認知症地域支援・ケア向上事業 (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A	
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入	2,012	2,204	192
		事業活動収入計 (1)			2,012	2,204	192
	支出	人件費支出			1,814	2,018	204
			職員給与支出		1,222	1,258	36
				職員俸給支出	1,012	1,075	63
				職員諸手当支出	210	183	△ 27
			職員賞与支出		251	394	143
			退職給付費支出		111	115	4
			法定福利費支出		230	251	21
		事業費支出			133	133	0
			旅費交通費支出		133	68	△ 65
			消耗品費支出		0	65	65
		事務費支出			15	15	0
			福利厚生費支出		15	15	0
		負担金			50	38	△ 12
事業活動支出計 (2)				2,012	2,204	192	
事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)				0	0	0	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)			0	0	0
	支出						
		施設設備等支出計 (5)			0	0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)				0	0	0	
その他の活動による収支	収入						
		その他活動収入計 (7)			0	0	0
	支出						
		その他活動支出計 (8)			0	0	0
	その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)				0	0	0
予備費支出 (10)				0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)				0	0	0	
前期末支払資金残高 (12)				0	0	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)				0	0	0	

平成30年度 生活支援サポート事業 資金収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日

(単位：千円)

区分	勘定科目			拠点区分 ～ 地域福祉推進事業 生活支援サポート事業 (サービス区分)			
	大区分	中区分	小区分	前年度予算額A	本年度予算額B	増減B-A	
事業活動による収支	収入	受託金収入	市町村受託金収入	津別町受託金収入		1,336	1,336
		事業活動収入計 (1)				1,336	1,336
	支出	人件費支出	非常勤職員給与支出			1,008	1,008
		事業費支出				328	328
			消耗器具備品費支出			120	120
			諸謝金支出			81	81
			印刷製本費支出			104	104
			通信運搬費支出			23	23
	事業活動支出計 (2)				1,336	1,336	
	事業活動収支資金差額 (3) = (1) - (2)				0	0	
施設整備等による収支	収入						
		施設設備等収入計 (4)				0	0
	支出						
		施設設備等支出計 (5)				0	0
施設設備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)				0	0		
その他の活動による収支	収入						
		その他活動収入計 (7)				0	0
	支出						
		その他活動支出計 (8)				0	0
その他活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)				0	0		
予備費支出 (10)				0	0		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)				0	0		
前期末支払資金残高 (12)				0	0	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)				0	0	0	